

# GNU PRIVACY GUARD (GPG) サポート

## GPG環境における鍵管理と電子署名を合理化

### 概要

DigiCert® Software Trust Manager は、Smartcard Daemon (STM-SCD)機能により、Gnu Privacy Guard (GnuPGまたはGPG)環境の複雑な鍵管理と署名ワークフローを合理化します。

STM-SCDを使用することで、組織はDigiCert® Software Trust Manager の堅牢な鍵管理とアクセス機能をGPGのユニークなキーリングアーキテクチャを通じて活用できます。STM-SCDは署名作業を簡素化し、GPGのコマンドラインインターフェイスを活用したオープンソースツールでしばしば必要とされる複雑なスクリプトや設定を不要にします。また、STM-SCDは幅広いプラットフォームと暗号アルゴリズムをネイティブでサポートし、他のツールでは制限されがちだった利用例となる鍵と署名の管理を簡素化します。

### GPGの利用例

- Debian と RPM パッケージの署名
- GPGコマンドラインによるファイル署名
- Podman、skopeo、buildahなどのRedhatツールを使用したOCI準拠のコンテナ署名
- Gitコミット署名
- バウンシー・キャスル鍵管理

DigiCert® Software Trust Manager は、GPGマスターおよびサブキーの属性と、鍵管理と安全な署名のためのアクションを表示します。

### GPG ネイティブ機能

STM-SCDは、Software Trust Manager の堅牢な鍵管理、アクセスと署名のワークフロー機能をGPG環境に拡張します：

#### GPGキーリング・アーキテクチャのサポート

STM-SCDは、GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェース)、SMCTL(コマンドライン・インターフェース)、REST APIを使用して、権限の分離、鍵の失効、秘密鍵と公開鍵サーバーの同期を伴うGPGマスター鍵とサブ鍵の作成と管理をサポートします。

#### すぐに使えるスマートカード・インターフェイス

STM-SCDは、他のツールで必要とされる複雑なスクリプトやコンフィギュレーションが不要になる、以下の3つのステップで署名が可能です。1) GPGカードのステータスを設定 2) キーリングをダウンロード 3) ファイルに署名

#### 幅広いプラットフォームとアルゴリズムをサポート

STM-SCDはコンパイル済みで、Windows、Linux、Mac OSで使用でき、RSA、ECDSA、EDDSAアルゴリズムをサポートしています。

### もっと詳しく

Software Trust Manager については、[こちらをご覧ください\(英文\)](#)。

